

石川町

議会だより

No. 212

令和4年 2月1日

発行／石川町議会
編集／石川町議会
広報常任委員会

2021 12月 定例会

写真／各自治センター合同で実施しているノルディックウォーキング事業(12月は沢田地区で実施)

- P2 12月定例会 審議結果
- P4 紙上中継(委員会)
- P5 12月定例会 一般質問(町政をただす)
- P14 あれからどうなった?(一般質問のその後は)

歴史民俗資料館整備事業費など全議案を可決

12月定例会

▶歴史民俗資料館として整備される旧ホテル松多屋



令和3年12月定例会は、12月2日から10日までの9日間の会期で開かれ、条例案件2件、補正予算4件、路線の町道認定1件、請願1件、議員発議1件の合計9件を審議しました。

一般質問には、9人の議員が登壇し、町政を問いました。また、41人の傍聴がありました。

歴史民俗資料館整備事業費計上

一般会計補正予算(第8号)の主なもの

今回の補正は、福島県人事委員会の勧告に伴う職員給与等や事業費確定に伴う減額などのほか、歴史民俗資料館整備事業に3億2738万6千円、公共施設保全基金積立金に6256万7千円、旧老人福祉センター解体撤去工事に係る経費に2100万円、福島県が実施する今出川河川改修事業の町負担金とし

て1000万円など、歳入歳出それぞれ4億347万4千円を追加し、既定予算と合わせて歳入歳出予算の総額を79億5876万6千円とするものです。

議案第79号

石川町債権管理条例の制定について

現在、それぞれの債権を所管する課毎に行われている本町の債権管理について、債権の回収や整理を計画的、効率的に進めるため、全庁が一体となった統一的な事務処理基準を定めるため、条例を制定するものです。

議案第80号

石川町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

福島県ひとり親家庭

町内飲食利用券発行事業費計上

一般会計補正予算(第7号)の主なもの

11月19日付けで歳入歳出それぞれ997万円を増額する専決処分を行いました。

今回の補正は、石川町料飲業組合及び石川町商工会商業部の実施する地域経済活性化に向けた取り組みに対する支援として、町内飲食利用券発行事業に957万円、石川版年末お年玉抽選券プレゼント事業に40万円など、既定予算と合わせて歳入歳出予算の総額を75億5529万2千円とするものです。

議案・請願・発議 審議結果

◆ 令和3年第8回定例会(12月定例会)

| 議案番号 | 議案・請願・陳情・発議 | 審議結果 | |
|---------|--|------|----|
| 議案 第79号 | 石川町債権管理条例の制定について | 可決 | 全員 |
| 議案 第80号 | 石川町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例 | 可決 | 全員 |
| 議案 第81号 | 令和3年度石川町一般会計補正予算(第8号) | 可決 | 全員 |
| 議案 第82号 | 令和3年度石川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) | 可決 | 全員 |
| 議案 第83号 | 令和3年度石川町介護保険特別会計補正予算(第2号) | 可決 | 全員 |
| 議案 第84号 | 令和3年度石川町水道事業会計補正予算(第3号) | 可決 | 全員 |
| 議案 第85号 | 路線の町道認定について | 可決 | 全員 |
| 請願 第5号 | 「沖縄戦戦没者の遺骨を含む土砂を辺野古新基地建設の海洋埋め立てに使用しないことを求める意見書提出」を求める請願(継続審査分) | 採択 | 全員 |
| 発議 第7号 | 沖縄戦戦没者の遺骨を含む土砂を辺野古新基地建設の海洋埋め立てに使用しないことを求める意見書 | 可決 | 全員 |

◆ 令和3年第7回臨時会(11月30日開催)

| 議案番号 | 議案・請願・陳情・発議 | 審議結果 | |
|---------|---|------|----|
| 議案 第74号 | 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度石川町一般会計補正予算-第7号) | 承認 | 全員 |
| 議案 第75号 | 石川町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 | 可決 | 全員 |
| 議案 第76号 | 石川町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例 | 可決 | 全員 |
| 議案 第77号 | 石川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 | 可決 | 全員 |
| 議案 第78号 | 石川町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例 | 可決 | 全員 |

◆ 令和3年第6回臨時会(11月8日開催)

| 議案番号 | 議案・請願・陳情・発議 | 審議結果 | |
|---------|-----------------------|------|----|
| 議案 第73号 | 令和3年度石川町一般会計補正予算(第6号) | 可決 | 全員 |

◆ 令和3年第5回臨時会(10月20日開催)

| 議案番号 | 議案・請願・陳情・発議 | 審議結果 | |
|---------|-----------------------------|------|----|
| 議案 第72号 | 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて | 適任 | 全員 |

11月8日の臨時会において、歳入歳出それぞれ1億4837万円を増額する補正予算を可決しました。

今回の補正は、米価下落により影響を受けた農業者への種子及び苗に係る経費の助成及び収入保険への加入促進を図る経費に164万8千円、3カ月の売り上げが10%減少した事業主への雇用維持支援に1900万円、3回目の新型コロナウイルスに係る経費に1億129万2千円など、既定予算と合わせて歳入歳出予算の総額を75億4532万2千円とするものです。

一般会計補正予算
(第6号)の主なもの

水稻種子及び苗に係る経費を助成

人権擁護委員候補者の推薦

任期満了に伴い、人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて、近内光慶氏(大字中野)、五十嵐幸成氏(大字双里)の推薦を適任としました。



予算審査特別委員会

石川町の合併浄化槽設置の現状

Q 令和3年度の浄化槽設置整備事業の進捗状況は、

A 12月末現在で58基の設置を確認しています。このうち47基が補助金の対象となっています。

Q 本町の汚水処理人口普及率は何%になったのか。

A 今年度新たに設置された合併処理浄化槽の実用人数が把握できていないため確かな普及率の算定はできませんが、令和2年度末の汚水処理人口普及率が68・88%となってい

ることから、今年度の設置基数や設置された浄化槽の規模などを勘案すると、今年度末においては70%を超える汚水処理人口普及率になるものと思われま

Q 今後の合併浄化槽推進の課題は何か。

A 住民の生活形態が多世代同居型から核家族型へと変化している中で、高齢者世帯が暮

らす既存住宅への新設や単独浄化槽からの転換設置の促進が課題となっています。台所やお風呂から排出される生活雑排水が環境に与える影響を丁寧に説明しながら、少しずつ合併処理浄化槽の設置を推進していきたいと考えています。

らす既存住宅への新設や単独浄化槽からの転換設置の促進が課題となっています。台所やお風呂から排出される生活雑排水が環境に与える影響を丁寧に説明しながら、少しずつ合併処理浄化槽の設置を推進していきたいと考えています。



▶浄化槽のしくみ(福島県浄化槽協会)

新たな歴史民俗資料館の活用について

Q 町の顔として、どのように再創生活ていくのか。

A ①町の資源を守りながら、新たな魅力を生み出す場とします。②貸館事業として皆さんの活動を応援します。③飲食が可能な交流スペースを設けることで、コミュニティの場を設けます。④体験教室を通じて、町民とともに成長できる場をつくる予定です。

Q 改装費は。

A 12月補正予算に、改装費2億円を含む3億2738万6千円が計上され、可決

しました。国の空き

家対策総合支援事業補助金1億円と過疎対策事業債2億2700万円を活用します。

※令和4年度・5年度で展示工事を行い、移転・開館となる予定です。



▲令和5年の開館に向け工事が始まる旧ホテル松多屋

Q 50歳以上を対象とした、带状疱疹ワクチンへの助成は

A 国の動向や発生状況を見極め、医療機関等の意見も伺いながら、検討します



乾 初美 議員

◆予防接種について

質問 日本脳炎ワクチン特例対象者への今後の方針は。

答弁 旧ワクチンから安全な新ワクチンに切り替わったことが十分に伝わっていないことも考えられますので、接種の必要性や副反応等を理解した上で接種できるように努めていきます。

質問 子宮頸がんワクチンの安全性について、町の見解は。



答弁 ワクチンの有効性の検証を積み重ねて、今回の積極的勧奨の再開に至ったという報告があります。重い副反応の発症の報告は、1万人当たり5人というデータもありますので、副反応やワクチンの有効性について十分周知してまいります。

質問 がん教育の充実について。

答弁 保健体育の時間にかん予防の指導も行っていきます。

意見 子宮頸がんワク

チンの接種勧奨には、行政と教育現場と医療機関が連携して知識を提供できるように取り組みが必要だと考える。

◆AEDについて

質問 町民が、AEDの設置場所を確認できるものはあるか。

答弁 本町の各公共施設に29台設置していますが、十分確認はされていないと思っております。

す。

意見 日本救急医療財団のホームページ等で位置情報から周辺の設置状況を確認できる。町の設置情報を登録し、町でも周知する必要がある。

質問 休日夜間も使えるように、AEDの屋外設置をしては。

答弁 貸し出し用AEDを配置してはいますが、今後は休日の対応についても検討します。

質問 町職員全員に普通救命講習の受講を義務付けては。

答弁 学校も含め、職員にもAEDの使い方等を周知してまいります。



▲モトガッコに設置してあるAED

Q 小規模・家族農業と集落存続に向けた対策を

A 実態調査や対策等、今後検討します



渡辺 実 議員

◆小規模農業・家族農業への支援と農村集落の存続について

質問 小規模農業・家族農業は高齢化や後継者不足、経営の赤字などで離農者が出て、集落維持が難しくなる状況にある。町の現状は。
答弁 令和2年では、経営面積が2ha未満の経営体が8割であり、農業生産の重要な役割を担い、農地の保全や水源の涵養、地域文化の伝承などに寄与しています。
販売農家も令和2年は735戸、平成17年は1223戸で、15年

間で488戸が減少、年間平均30戸が減少しています。

質問 農家や集落の実態調査、検討会等の設置、支援策検討の考えは。
答弁 検討します。

質問 営農指導体制の整備の考えは。
答弁 県、JAと協議し、検討します。

質問 農家や集落の存続に向けた町長の考えは。
答弁 あと5年が勝負、対応していきます。

質問 世界的には、家族農業が再評価されているが、町の考えは。
答弁 地域農業を牽引する経営体や集落営農組

織の育成等を継続していきます。

◆ヤングケアラーの実態と支援について

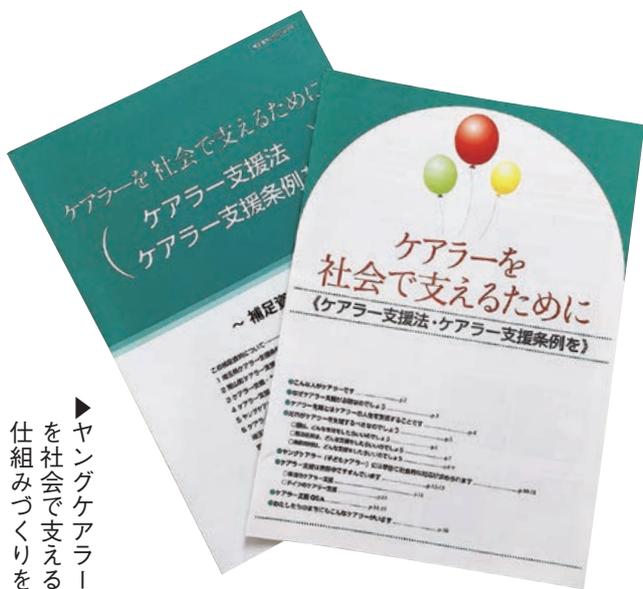
質問 ヤングケアラーとは18歳未満の児童・生徒が家族の家事や世話、介護などを引き受けて、勉強や学校生活が心配される子どもである。町の実態を伺う。

答弁 介護事業所などからの報告で把握しているのは2件です。

質問 国が全国調査を実施したが、その内容は。
答弁 昨年、全国の中学生・高校生を対象に実施し、中学生の6%、高校生の4%がヤングケアラーであることが分かりました。

質問 ヤングケアラーの実態調査の考えは。
答弁 国・県の指導を受けて調査を行います。

質問 支援の考えは。
答弁 学校、医療、介護、福祉関係者等が連携し、必要な支援を行います。



▶ヤングケアラーを社会で支える仕組みづくりを

Q 自治センターへの社会教育に関する支援策は

A 必要に応じた連携と支援を継続します



菊池美知男 議員

◆石川町公民館の活動及び地域活動強化について

質問 石川町公民館活動と各自治センターに対する支援策について伺う。

答弁 公民館では、町民一人一人が生涯にわたり自由に学ぶことが出来る環境をつくるため、町民全体を対象とした事業の実施や各自治センターに対し、必要に応じた連携と支援を継続して実施していきます。

質問 自治センターの活動について伺う。



▲石川自治センター

質問 自治協議会の活動と必要性について伺う。

答弁 地域事業や生涯学習事業のほか、地域における各種団体の連絡調整など様々な事務事業が行われています。

質問 石川町立歴史民俗資料館移転整備基本構想に基づく各種標本展示や企画展イベント開催などでの各スペースの具体的な利用計画について伺う。

◆新たな歴史民俗資料館の活用について

答弁 最も大きい旧宴会場部分を常設展示室、開いています。行政と住民の隙間を埋める協働による公助のパートナーとして、果たす役割は重要であると考えています。

意見 自治協議会等の組織が

出た事により、新たな労力や費用負担が発生し、そこに住む住民への重荷にならないようにすべきである。

質問 まちなか再生行動計画の見直しについて

答弁 人的体制は、資料館運営に係る職員二名と会計年度任用職員四名を配置し、鉦物学を専門とする学芸員の採用に向けて協議していきたくと考えています。総事業費につきましては、土地取得費も含め開館までに5億5千万円と見積もっています。

質問 基本構想を具現化するための人的体制や改装費用について伺う。

隣接する倉庫部分を鉦物標本の展示室、二番目に大きい部屋は企画展示、貸館、講演会場等に考えています。

Q 安全で安心な防災対策について

A 周知を図るため、防災に関する講演会の開催を予定している



下山田和雄 議員

◆安全で安心な防災対策について

質問 新たな防災マップの周知について。

答弁 インターネット、スマートフォンで閲覧可能なWEBハザードマップを町ホームページ内に開設するとともに、災害時には避難所の開設情報や通行止め箇所、災害発生箇所の表示等、住民に災害情報を即時に周知できる環境を構築する予定です。

質問 地域の実態に即した避難訓練について。

答弁 次年度以降、大

規模な地震、風水害等の発生を想定した総合的な防災訓練のほか、地域における水防訓練、避難所設置訓練などの個別訓練を実施し、防災対策の習熟と住民の防災意識の高揚を図ります。

質問 高齢者の避難体制について。

答弁 ルールが変わり、高齢者の方を先に避難していただくための情報を発信します。

質問 河川の堆砂除去について。

答弁 防災の重要な対策で、令和2年度から6年度まで堆砂除去を行います。

質問 渡里沢川の河川改修について。

答弁 下流域でJR水郡線や県道白河石川線が本河川をまたいでお



▲過去に行われた県中地方総合防災訓練 (平成29年10月)

り、これらと交差する地点での高さが制限されるため工事が極めて困難であり、断念したところです。しかし、川岸の浸食や土砂堆積、雑木の繁茂などにより環境が悪化しているため、早期に堆砂除去等を行うなどして維持管理に努めます。

◆県立石川高校の存続に向けた取り組みについて

答弁 石川管内及び近

隣の9つの公立中学校を訪問し、石川高校の独自の教育プログラムの内容、また高校存続に向けた協議会や行政としての取り組みについての意見交換を行いました。

質問 県立石川高校の魅力を上げる取り組みへの支援について。

答弁 生徒のキャリア教育の一環として、地元企業、事業所で体験実習をする、いしかわワーク・アンド・ライフ教育に取り組み、社会的、職業的自立を支援する指導の充実を図っています。

意見 将来において、有望な機器とされている「ドローン」を課外授業に取り入れるための支援をすべきである。

Q 旧母畑小学校跡地の進入路の整備は

A 令和4年度に改修工事を着手したいと考えています



関根 信次 議員

◆旧母畑小学校跡地の進入路の整備について

【質問】 これまでの経過は。

【答弁】 母畑地区自治協議会より、新たな地域自治活動の拠点として活用するため、自治センターの移転改築や進入路の改修などの要望が提出されており、現在、廃校施設利活用方針に基づき、母畑地区自治協議会と協議を行っています。

【質問】 進入路の整備は。

【答弁】 旧母畑小学校跡地の進入路は、幅が狭



▲改修予定の旧母畑小学校跡地進入路

◆農業振興について

【質問】 農業再生に向けた町の施策について伺う。

【答弁】 集落営農の推進を図るとともに、集落ぐるみの農地の管理、維持活動の支援策である中山間地域等直

く、急な坂であるため、災害の際、迅速な避難行動や応急活動等に支障が発生するおそれがあることから、防災対策の観点から改修する方針であり、令和4年度に改修工事を着手したいと考えています。

【質問】 小規模農家の離農が増えれば、荒廃農地の増加による地域環境の悪化や地域コミュニティの維持が困難になっていくと思うが。

【答弁】 経営維持に必要な機械、施設の導入支援、高収益作物の導入への誘導、非主食用米

【意見】 地域のよりどころである自治センターの旧母畑小学校跡地への早期移転整備をすべきである。

への作付けの誘導など、様々な支援策を講じて取り組んでいきます。

◆新型コロナウイルス感染症対策について

【質問】 大きな影響を受けている町内経済の再生に向けた取り組みは。

【答弁】 感染症の影響により売り上げの減少が著しく、事業継続に支障を来している事業者に対し、国、県の支援策に加え、町独自の支援策を積極的に展開しています。

【質問】 3回目のコロナワクチン接種の予定は。

【答弁】 高齢者の方については2月半ば以降に開始する予定です。その後の64歳以下の方については4月から5月ぐらいまでかかる見込みです。

Q 令和4年度事業の推進に当たっては

A 真に必要な施策へ財源を集中し町政運営に取り組む



根本 重泰 議員

町に、真に必要な施策とは？

◆ 令和4年度町政運営の基本方針は

【答弁】 町の将来像「共に創る幸せ実現のまち」の実現に向け、特に子ども子育て、防災、定住移住、交流人口をキーワードに、町民の安心安全の確保を最優先とし、SDGsや脱炭素社会を、そして行政のデジタル化など時代の潮流を捉え、先見性を持った施策でスピード感を持って推進したいと考えています。

● 安全・水害対策、河川の浚渫は。

【答弁】 見えるような形で計画的にやっていたり、さくように、さらに強く要望していきたいと考えています。

● 定住・民間活力を生かした住宅施策とは。

【答弁】 基本的に、石川町は土地が高いです。民間の不動産業者に協力してもらい、坪5万円ぐらいの土地価格を設定し、町有地の有効活用が図れるかどうか検討していきます。

● 医療・石川町の医院の小児科が、夜間でも対応できるような仕組みがでないか。

【答弁】 町内8医療機関のうち6医療機関が小児科を標榜して対応に当たってくださっています。対策として、夜間や休日の小児科に今どこ

が対応できるかという情報を適切に短時間でお母さんたちに伝える体制が取れないか考えています。

また、お母さんたちが持っているニーズを、まずは町内の先生方に分かっていただくことが必要だと思います。石川郡の町村と医師会との連携をするための



● 地域活性化・道の駅を造る目的と狙いは。

【答弁】 1つ目は地域の活性化です。2つ目は交流人口を増やすことです。運営を堅くやって確実に物を消費してもらい、公民連携でタイアップしていくことで進めていきたいと考えています。スピード感を持ってやっていきます。ただ、事業としては認定こども園、浄水場改修もあります。それから歴史民俗資料館との兼ね合いもあります。健全な財政計画で進めていきたいと思っています。

Q 農家が希望を持てる施策は

A 『儲かる農業』を実現できるよう施策を推進する



小木 芳郎 議員

◆活力ある産業を形成する農業施策について

質問 主食用米の生産数量が減る中、農家をとり巻く環境は一段と厳しい。町の見解と支援策を伺う。

答弁 既存の事業の見直しや新しい事業について、今後とも検討していきます。

質問 米価下落に対応した緊急対策事業の申請状況と農業経営者の反応を伺う。

答弁 478名の申請があり、町のスピード感を持った対応に、評

価をいただいています。

質問 首都圏近接産地の強みを生かした販路拡大や付加価値について町の見解を伺う。

答弁 石川地方全体で、販売促進や高付加価値化に向け議論ができるよう提案していきます。

質問 人の命をつなぐ食の生産は国の基であるが、町の農業に対する思いを伺う。

答弁 時代の変化の中で、各地域の実態や特色を踏まえて対応していきます。

質問 担い手不足の現状の中、GAP(ギャップ)に対する進め方は。

答弁 GAPを実践している農家は、高い信頼が得られます。結果として安定した取引、経営向上につながるため、今後もGAP導入を推進していきます。

質問 本町のGAP取得状況と、近隣町村や県全体の取得状況を伺う。

答弁 本町のGAP取得は3件です。平田村で2件、古殿町で1件、県全体で357件です。今後も推進を図ります。

質問 新規就農者の確保に向けた仕組みづくりについて伺う。

答弁 毎年、新規就農者が増えている市町村は、技術指導など面倒を見る仕組みがあります。本町も具体的な仕組みづくりを進めていきます。

質問 遅霜に対する町の見解と支援策について。

答弁 平成以降最大の被害となりました。営農継続ができるように、凍霜害発生防止の資材などを購入する経費助成を行いました。

質問 被害状況と被害額について伺う。

答弁 4月の霜被害では桃・梨・リンゴで約4800万円、6月の雹害では野菜等で約150万円の被害となりました。

意見 農業を取り巻く環境は、年々厳しくなっている。持続可能な農業が進められるようすべきである。



▲倉庫に山積みされている令和2年度産米(12月撮影)(右)、凍霜害等により収穫量が減った特産品のリンゴ(左)

Q 年末年始、大型連休時の診療をせめて町内の1カ所ぐらい交代でできないか

A 住民のニーズを先生方と共有し話し合いたい



瀬谷 京子 議員

◆病院誘致断念後、医療体制整備の施策を示されたが、検討結果について

質問 町内に不足する診療科開設の要望と支援は。

答弁 耳鼻咽喉科について医療機関と相談しましたが、設備投資やスペース確保など課題が多く開設に至っていません。町の補助金では難しいとのことですが。

質問 本町独自の医療提供整備事業補助金制度の利用実績は。

答弁 町内の既存の医療機関の改修や機器の

更新等医療体制を維持し、継承を支援する制度ですが、現在のところ利用実績はありません。周知を図ります。

質問 ICT活用の診療の考え方は。

答弁 遠隔診療は、患者、家族、医師、訪問看護にとっても医療管理の質も非常に高くなり有効です。

石川郡地域医療協議会で、県の補助金を活用し導入に向け、検討を進めていく考えです。

質問 ドクターヘリ専用ヘリポートの設置は。

答弁 本町のドクターヘリ要請件数は令和元年12件、2年17件、3年6月現在12件と年々増加しています。

今年度から保健センター裏手の町有地に、40m×40mの面積で整備します。



▲ドクターヘリ専用ヘリポート予定地
(字渡里沢地内 保健センター裏)

質問 今後の医療体制整備の課題と対策は。

答弁 「小児の夜間診療」のニーズに対することと、「高齢者の在宅医療」の充実のため各関係機関と推進します。

◆歴史民俗資料館移転計画について

質問 資料館移転検討委員会から出た課題は。

答弁 学芸員の採用、施設の入出口付近の安全確保、基本構想に掲げた機能の達成度の三点です。

質問 学芸員採用は。

答弁 現在、歴史系学芸員（会計年度任用職員）1名がいます。鉱物学専門の学芸員を5年の4月採用に向け協議します。

質問 安全確保は。

答弁 施設への出入り時の危険性を指摘されましたので、石川警察署と協議します。

質問 アスベスト対策は。

答弁 旧ホテル松多屋の3か所で検出されましたが一月中には撤去工事が完了します。

質問 開館までの事業費は。

答弁 5億5千万円と見積もっています。

意見 わくわく感のある、また行きたくなくなる、人が集える施設にすべきである。

Q 土地利用計画及び都市計画マスタープランの見直しを

A 全体的な見直しが必要と認識している



瀬谷 寿一 議員

◆30年先を見据えた
*ランドデザインに
ついて

質問 専門家を招聘し、10代20代による30年後の「石川町の未来を描く組織」を。

答弁 若者が町の魅力創出に挑戦し、地域の課題解決や町政に参画することは、最も重要な施策なので、今後検討します。

質問 バイパス、河川改修、市街地、未利用の公共用地、荒廃する農地など課題が多い、先に伸ばすべきではないと思うが。

▶市街地の大半が浸水エリアだ、住み続けられる対策を！



答弁 土地利用計画については、見直しの時期に来ていると理解しています。

質問 石川町には、何カ所か鉱業権が設定されている。その確認は。

答弁 道の駅整備では確認していますが、造成において、その権利がどのように影響する

かについては、今後確認が必要です。

◆歴史民俗資料館整備について

質問 鉱物専門の学芸員の配置と資料館を博物館相当施設に。

答弁 鉱物専門の学芸員は、5年度採用に向け協議を進めます。博物館相当施設への登録は、今後の国の動向を注視します。

質問 計画的に歴史系学芸員の配置を。

答弁 将来的に歴史専門の学芸員が必要となれば考えていきます。

質問 本町の特色でもある鉱物、自由民

権の2枚看板を掲げてアピールをすべきだ。

答弁 展示の基本テーマを「石川の大地と人々が織りなすモノがたり」にしました。通観的展示構成にしたいと思います。

質問 鉱物で日本一のものとして日本を代表する自由民権運動を強くアピールすべきだ。

答弁 検討委員会の意見を尊重し、全国に誇れる鉱物館と歴史民俗資料館を目指していきます。

質問 町民創作活動展示室など町民に親しまれる取り組みは。

答弁 開館にあたり、施設ボランティアの育成を図ります。また、町民創作活動展示は、貸館スペースを設け、町民文化に寄与したいと思えます。

あれからどうなった？

一般質問のその後は

令和6年度中に 認定こども園の開園を 目指しています

●建設場所は。

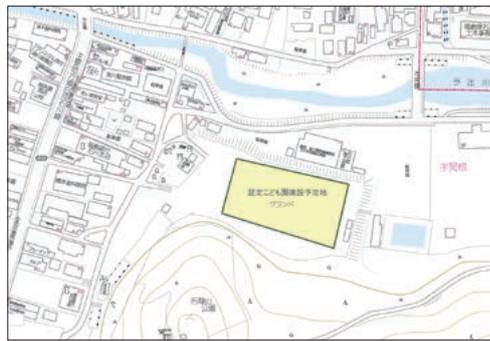
●町有地を前提とした複数の候補地から検討し、安全性、利便性、経済性の観点から、モトガッコの隣接地である旧々石川小学校跡地に決定しました。

●現在の進捗状況は。

●建設用地周辺の測量調査は終了しており、建築基本計画の策定とともに、用地造成の基本設計を今年度内に作成する予定になっています。

●児童数が減少している一方で、保育ニーズは多様化しているため民間保

育施設との均衡を図りながら200名以内の定員規模を考えています。



▲園建設予定地の旧々石川小学校

●建設用地周辺の測量調査は終了しており、建築基本計画の策定とともに、用地造成の基本設計を今年度内に作成する予定になっています。

今後のスケジュールは、

ドクターヘリポート 整備計画決まる

迅速な緊急医療体制の構築を目的とした、臨時離着陸場（ドクターヘリポート）の整備計画が公表されました。

●場所は。

●石川消防署、福島県消防防災航空センターとの協議を経て、次の主な条件を考慮しました。

- ① 町有地であり、国道118号沿い、石川消防署に隣接していること
- ② 石川町内のいずれの場所からも時間、距離が

均一となる本町の中心地であること

- ③ 人口集積地に近く、医療機関からの緊急依頼対応が可能なこと
- ④ 専用施設としての整備が可能なこと

* 福島県立医大からの到着時間：約20分



ドクターヘリポート整備スケジュール

| 年度 | R3年度 | | R4年度 | |
|-------|-------|-----|------|-----|
| | 10-12 | 1-3 | 4-6 | 7-9 |
| ①測量設計 | ←→ | | | |
| ②造成工事 | | ←→ | | |
| ③舗装工事 | | | ←→ | |

3地区の 水道給水区域拡大



▶水道の給水に期待している
谷沢・坂路・谷地地区

●水道事業給水
区域の拡大地区
は。

●県への給水区域変更認可申請を経て、役場に隣接する字大内地区、国道沿いの大字山形字喜蒲沢・兔田地区、県道いわき・石川線沿いで給水未普及地区であった、大字谷沢・坂路・谷地地区を加えました。



常任委員会 所管事務調査

総務産業建設

民間経営の「道の駅」を調査

令和3年12月16日から17日に民間に経営を任せられている千葉県「道の駅木更津うまかつの里」と栃木県「道の駅うつのみや

ろまんちっく村」の調査を行ってきました。

木更津市の道の駅は、企画・建設・運営まで一貫した委託を受けています。

商品数2千品、開発商品百種類と商品開発に優れた道の駅で、年平均7億円の売り上げ実績です。

宇都宮市の道の駅は、市が運営していた46ヘクタールの農村公園を民間企業に指定管理し道の駅を中心に経営をしており、地域商社としての道の駅を目指しています。道の駅の売り上げは、年8億円です。



▲道の駅うつのみや ろまんちっく村

どちらの「道の駅」も地域資源中心の商品開発と「地産外販」の経営に優れ、商圏は、近隣市町村を含め10万人以上であり、地域の流通と交流の拠点となる「地域商社型」を目指しています。



▶道の駅木更津うまかつの里

未来に向かつて

・ 高校生の声

県立石川高校 3年 瀬谷 雛妃 ひなき

今頑張っているけど、 これから頑張りたいこと



私は、以前から旅館関係の仕事に就きたいと考えていました。地元石川町にとても有名な旅館があるということと、以前から働いてみたいと思っていた旅館の仕事ということで八幡屋様を志願しました。就職活動の結果、無事に内定をいただくことができました。日本有数の旅館で働くこ

とができるということ、その準備として今頑張っていること、これから頑張りたいことが二つあります。一つ目は笑顔での接客です。新型コロナウイルスによってマスクの着用をするという習慣ができてしまい、接客業で一番大事な笑顔を伝えるに

なっている状況になっていきます。そのため、マスク越しでも

お客様を笑顔で幸せにできるような接客をしたいと思っています。二つ目は、しっかりとした作法や言葉遣いを身に付けるということです。接客業ということで言葉遣いや作法は特に重要なことだと思っています。自分の言葉遣いや作法が足りない点でお客様を不快にさせないよう、また、気持ちよく過ごしてもらえよう、常日頃の生活から気を付けて過ごしていきたいです。



▶ 茶道を通して作法を学ぶ姿

編集後記

新しい年を迎えましたが、広報常任委員会も新体制でスタートしております。皆様には、より親しまれる紙面づくりを心がけたいとスタッフ一同希望に燃えています。どうぞ今年も「議会だより」をよろしくお願い申し上げます。菊池美知男

議会を
傍聴しませんか
3月定例会「一般質問」は
3月7日(月)の
予定です。

議会インターネット中継

町議会では、本会議の映像を配信しています。町ホームページを経由してYouTubeで視聴することができますので、是非ご覧ください。ホームページへはこちらのQRコードからアクセスできます。



| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 議員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 | 常任委員会 |
| 増子美知夫 | 瀬谷 寿一 | 根本 重泰 | 藤島 一浩 | 乾 初美 |
| | | | 菊池美知男 | |

